

生産緑地地区に関する都市計画（案）

計 画 書

令和4年5月

【京都府南丹市】

南丹都市計画生産緑地地区の変更（南丹市決定）

南丹都市計画生産緑地地区を次のように変更する。

地区 番号	位置	面積 (ha)	備考
51	八木町八木鳴下柳ヶ坪地内	—	地区の全部廃止 (約 0.10ha 廃止)
52	八木町大藪生寿地内	—	地区の全部廃止 (約 0.11ha 廃止)
(既決定地区) 68 地区	68 地区	約 9.43	上記変更にかかる 地区を除く
合計	68 地区	約 9.43	

「位置及び区域は計画図表示のとおり」

理 由

市街化区域内において、緑地機能及び多目的保留地機能の優れた農地等を計画的に保全し、良好な都市環境を形成することを目的に指定した生産緑地地区について、生産緑地法第14条で規定される生産緑地地区内での行為制限が解除されたもので、生産緑地としての機能が保全されなくなった生産緑地地区の全部を廃止するため、本案のとおり南丹都市計画生産緑地地区を変更するものである。

新 旧 対 照 表

	新	旧	備 考
面積 (ha)	約9.43	約9.64	地区の全部廃止 △約0.21ha
地区数	68	70	地区廃止 △2地区

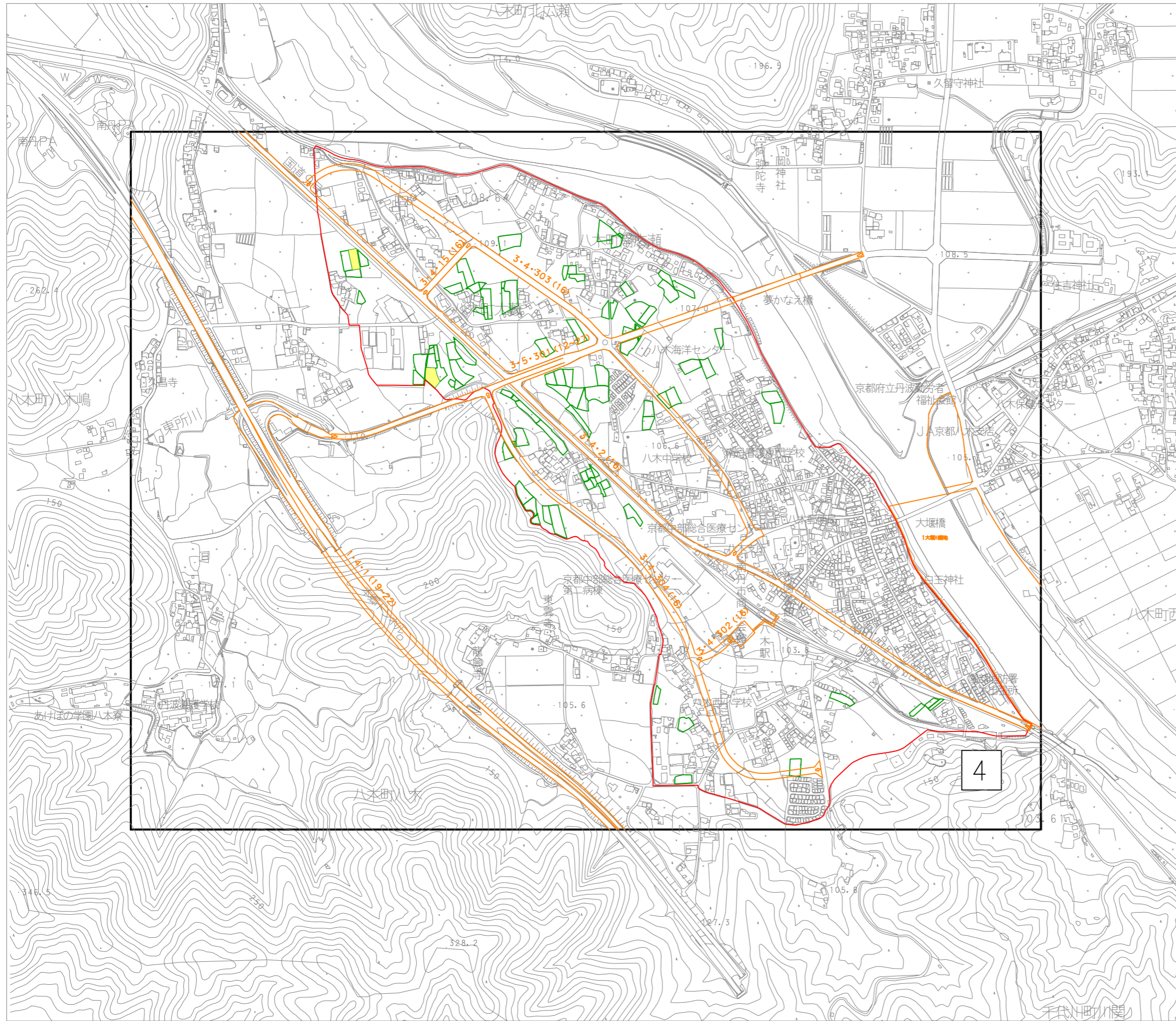
変更理由説明書

現在、南丹市においては、市街化区域内の農地を「宅地化する農地」と「保全する農地」に区分し、環境機能の優れた農地等を計画的に保全し、良好な都市環境を形成するため、都市計画法及び生産緑地法に基づき、その「保全する農地」を「生産緑地地区」として、70地区、約9.64haを都市計画決定している。

今回、都市計画の変更を行う地区番号51・52は、主たる従事者の故障により、生産緑地法第10条に基づく生産緑地地区所有者からの買取申出があったが、買取りを行う地方公共団体等がなく、他の農業従事希望者への売買のあっせんも不調に終わったため、買取申出日から3月が経過した1月6日に、生産緑地法第14条の規定により生産緑地地区内での行為制限が解除された。ついては、生産緑地地区内での行為制限が解除された地区を全部廃止するために、南丹都市計画生産緑地地区を変更するものである。

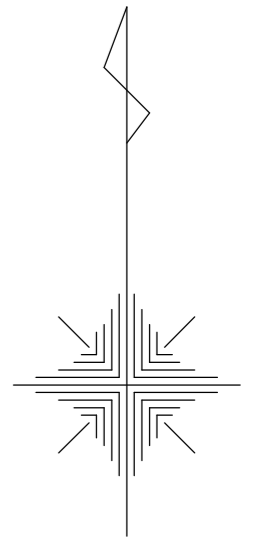
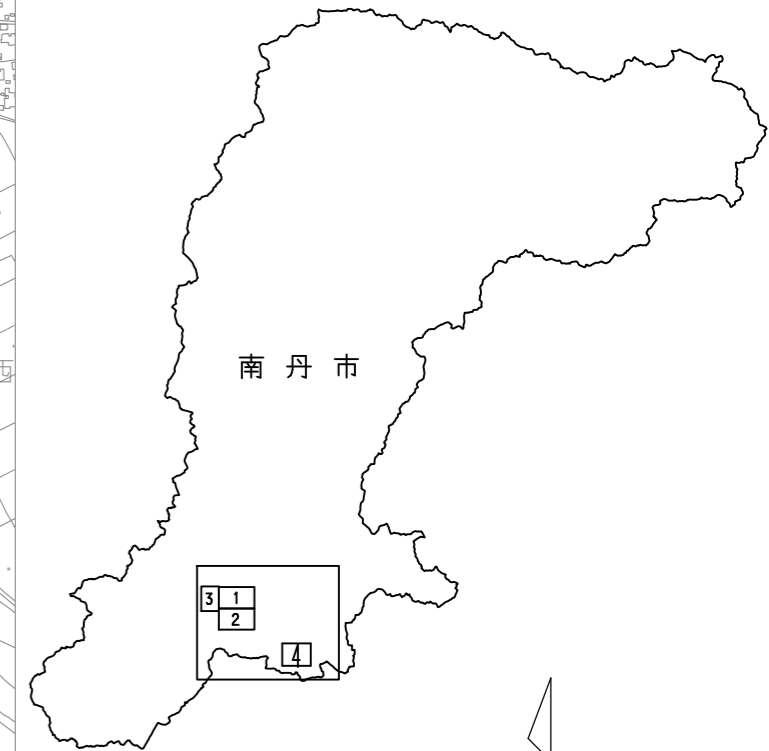
なお、今回の変更により、生産緑地地区は2地区廃止し68地区、生産緑地地区面積は約0.21ha廃止し、約9.43haとなる。

南丹市都市計画総括図

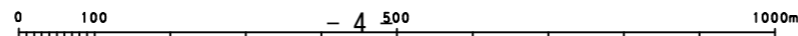


総括図	令和 3 年度 南丹都市計画 生産緑地地区の <u>決定</u> <u>変更</u> (南丹市決定)
	S=1/10,000

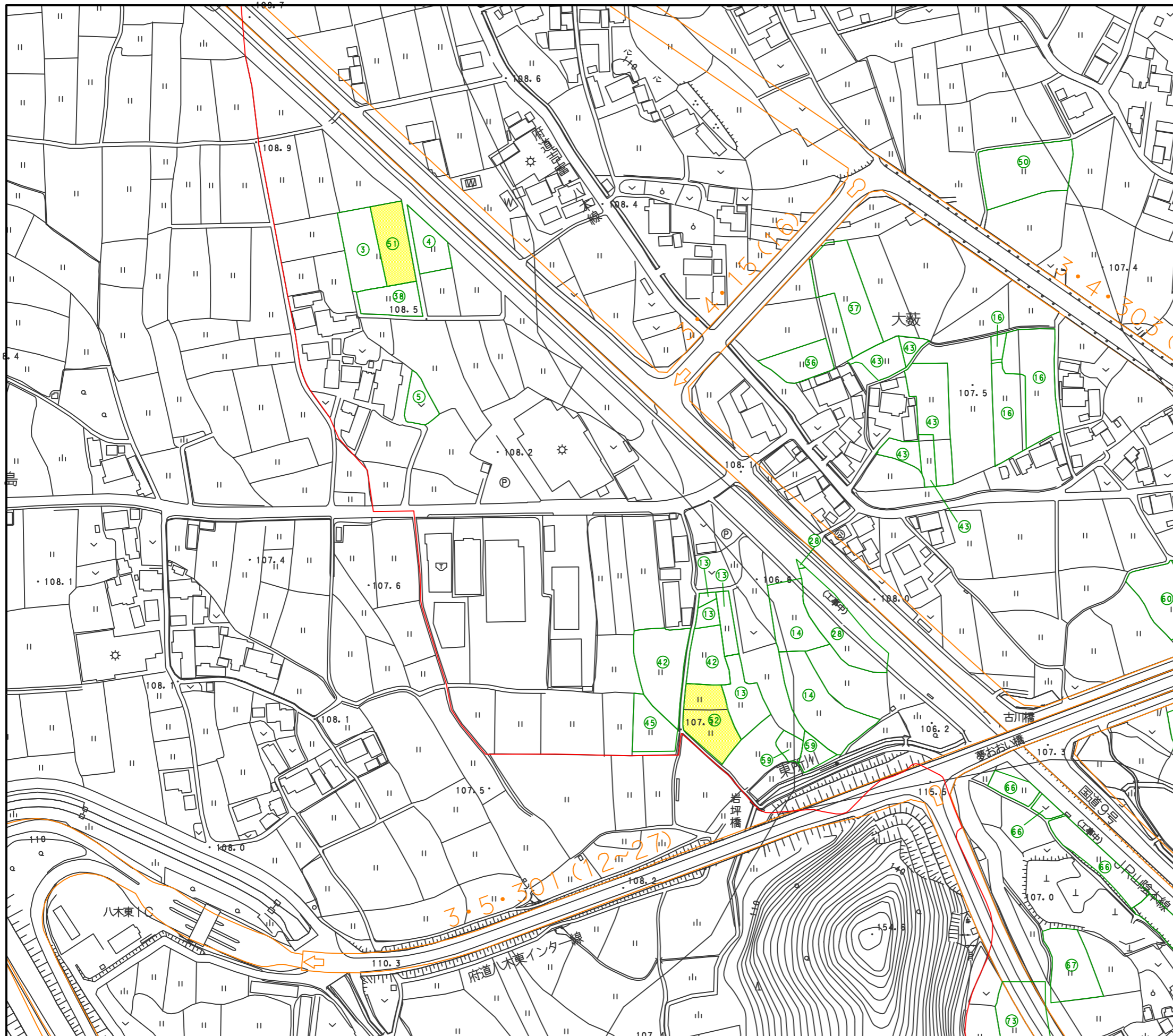
凡 例	
	市街化区域線
	生産緑地地区
	都市施設



1 : 10,000

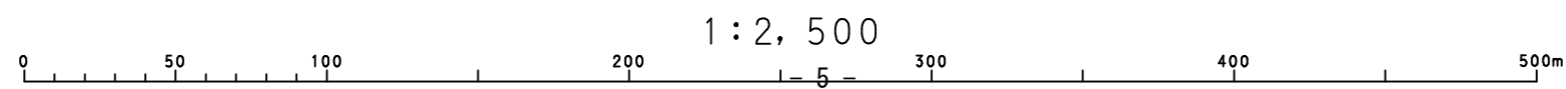
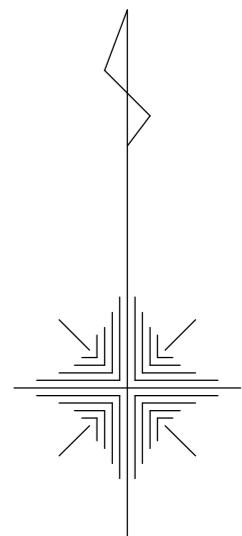
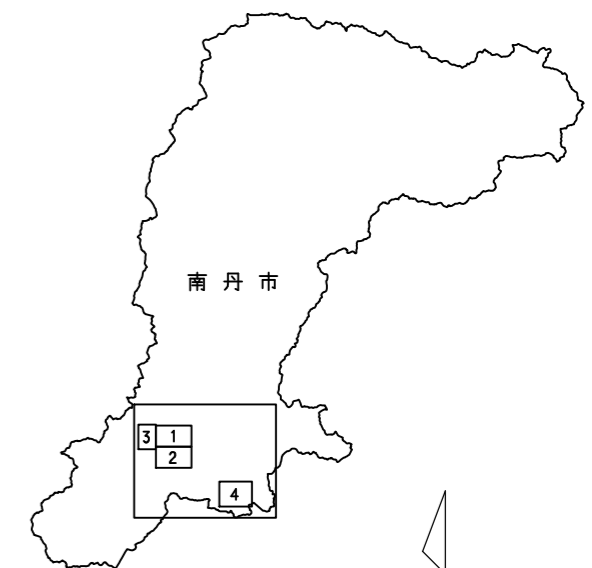


南丹都市計画図 (南丹市) 4



計画図	令和 3 年度 南丹都市計画 生産緑地地区の <u>決定 変更</u> (南丹市決定)	
	S=1/2, 500	図面番号 4

凡 例	
	市街化区域線
	生産緑地地区
	都市施設

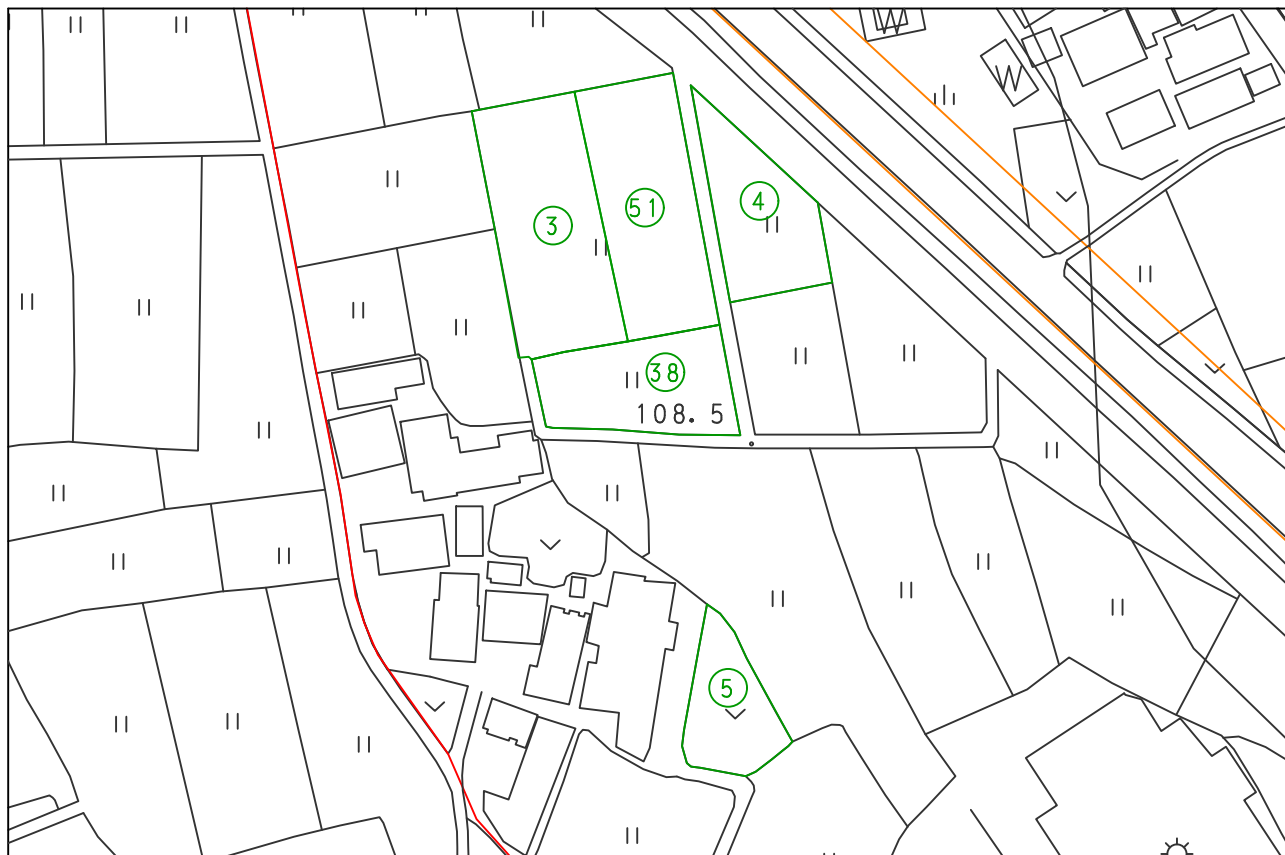


生産緑地地区変更計画図

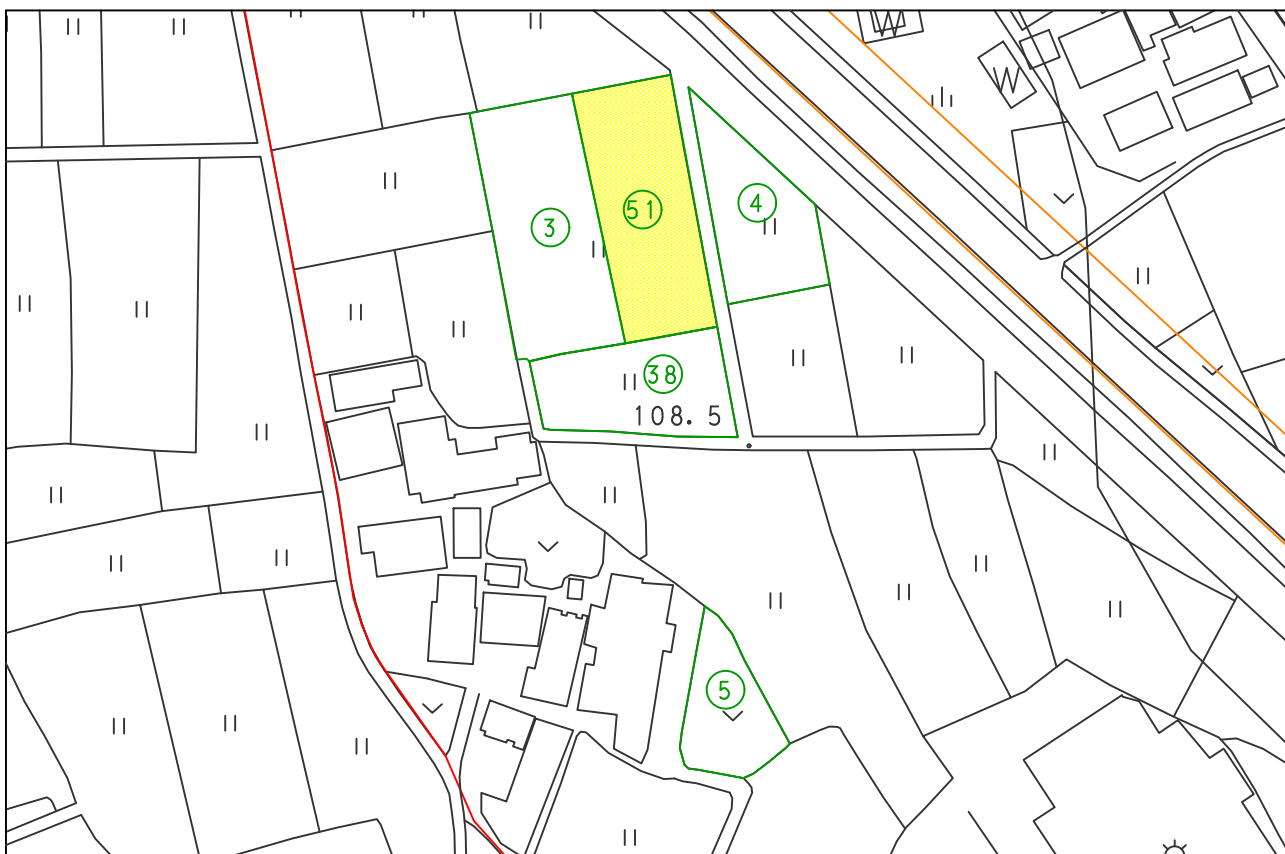
地区番号：51 南丹市八木町八木嶋下柳ヶ坪地内

S=1:1,500

変更前



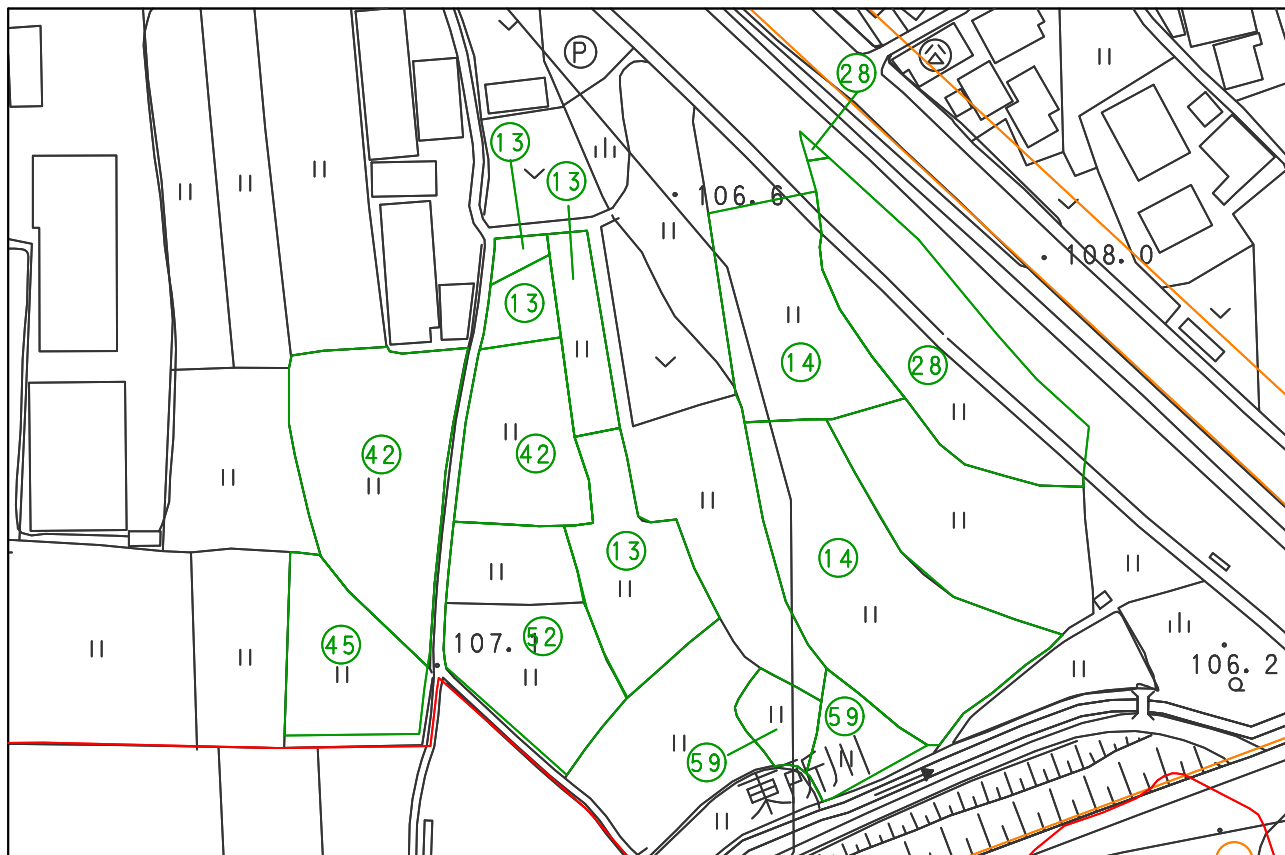
変更後



生産緑地地区変更計画図

地区番号：52 南丹市八木町大藪生寿地内 S=1:1,500

変更前



変更後

